

はじめに

「新しい時代の義務教育を創造する（平成17年10月・中教審答申）」を受けて、文部科学省は、「国際社会の中で活躍できる心豊かでたくましい人づくり」を目指すための「教育改革のための重点行動計画（平成18年1月）」を発表し、具体的な取組とスケジュールをとりまとめました。「活力ある人材を育てるための教育の充実」と「充実した教育を支える環境の整備」を柱に据えて、「豊かな心」と「健やかな体」をもち、「自立し挑戦する若者」を育成するための取組を提起しています。多様な価値観が交錯する現代社会にあって、「学校力」と「教師力」の質を保証し、より高めるための技能と応用力が求められているのです。一方で、家庭の教育力や子どもたちの規範意識の低下が社会問題化しています。また、学校・家庭・地域社会の「教育の連携」も今日的な重要な課題です。学校と教員に寄せられる期待とともに、その果たすべき役割と責務の大きさに心が引き締まります。

さて、当教育研究所では、今日の教育状況を踏まえて、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成するための教育の在り方について研究を行ってまいりました。その成果を「研究紀要第14号」並びに「研究集録第14号」として発刊いたしました。

「研究紀要」は当教育研究所の指導主事研究、「研究集録」は平成18年度奈良県立教育研究所長期研修員と奈良県教育委員会指定研究員によるプロジェクト研究及び個人研究をまとめたものです。

これらの研究の成果をご一読いただくとともに、研究をより一層発展させるためにも、ご教示・ご意見を賜れば幸いに存じます。

なお、末筆となりましたが、調査研究のためにご指導、ご協力を賜りました皆様方に、心からお礼申し上げます。

平成19年3月

奈良県立教育研究所

所長 井上 喜一